



小学館 女性インサイト研究所
Shogakukan Women's Insight Lab

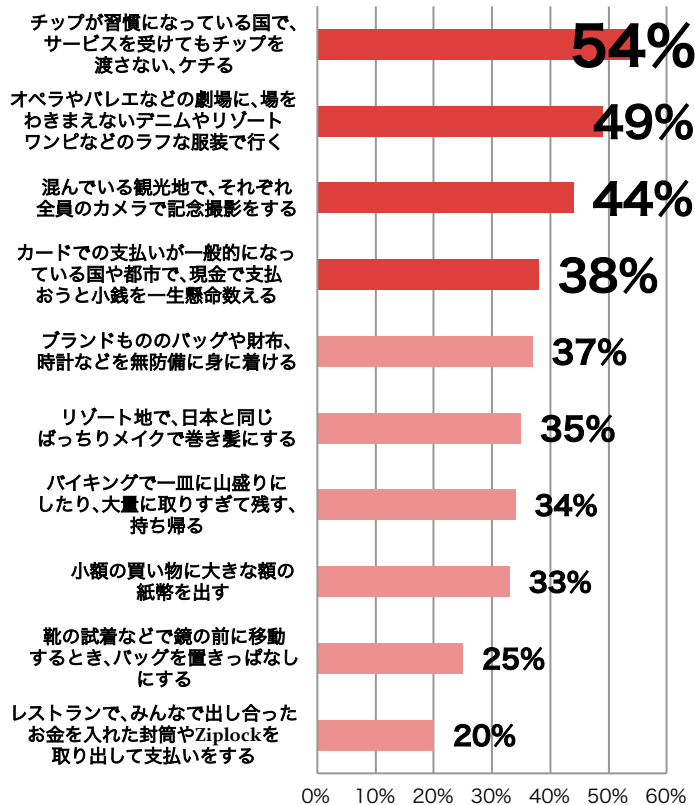
20~30代女性
276人に聞いた!!

あなたは大丈夫？

「海外での“恥ずかしい”日本人の行動」 調査結果発表！

女ゴコロを調査・研究する小学館女性インサイト研究所では、20~30代女性を対象に「海外旅行での“恥ずかしい”日本人」について意識調査を行いました。その結果、多くの人が“恥ずかしい”と感じるのは、「お金」「マナー」「防犯意識」に関することに集中。その一方で、自らも「うっかり“恥ずかしい”失敗をしたことがある」と答えた女性も多かったです。そこで、ファッション誌で活躍するスタイリスト、ヘアメイク、エディターなど海外旅行の達人たちに、海外旅行をもっとスマートに楽しむコツを教えてくださいました。

海外旅行で「恥ずかしい」「カッコ悪い」と 思う日本人の行動は？



“恥ずかしい”行為の堂々1位に輝いたのは「チップを渡さない、ケチる」。日本ではチップの習慣がないので、うっかり忘れがちですが、受けたサービスに対してチップを渡すことが常識の国、チップが生活収入の一部になっている人がいる国では注意したいところ。

2位の「場をわきまえない服装」については「ビーチリゾートでの過剰な日焼け対策。長手袋に日傘とか怪しすぎる」（28歳/契約社員）

3位の「混んでいる観光地で、それぞれ全員のカメラで記念撮影をする」に関連して、「リゾート地で、ジャンプをしたり走ったり、同じ写真を何度も撮りあっている人がいた」（36歳/フリーランス）など、撮影好きな日本人ならではの、写真にまつわる“恥ずかしい”行動も多くみられがちな結果に。

4位の「カードの支払いが一般的な国や都市で、現金で払おうと一生懸命小銭を数える」については、慣れない貨幣の扱いでレジ前でもたつのが他の人に迷惑だったり、現金が多く入った財布を人前で開くのは防犯上危ないという指摘も。



「アラブ首長国連邦の肌見せ禁止なモスク見学に行くときわかっていて、ひらひらのミニスカートを履いていた」（26歳/会社員）

ほかにもこんなに！
私は見た！
海外でのこんな
“恥ずかしい”
日本人

グループ旅行に来ていた人たちが、レストランの会計で現金が足りなかったようで、誰のカードで支払うかをずっと言い争っていた」（24歳/会社員）

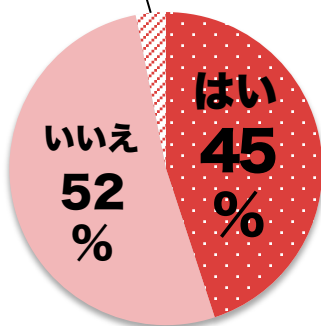
「現地の地下鉄にブランドショップで買い物した紙袋を大量に持ち込む。危ない」（35歳/会社員）

「高級ホテルのロビーでスーツケースを開けていた」（29歳/会社員）

「自分も“**恥ずかしい**”失敗をしたことがある」女性が45%も！

海外旅行で、うっかり「恥ずかしい」失敗をしたことがありますか？

無回答 3%



一方、「うっかり“恥ずかしい”失敗をしたことがありますか」という質問に「はい」と答えた女性は**45%**！ 半数近い女性が過去に“恥ずかしい”失敗をしたことがあり、そのぶん「気を付けたい」という意識が高いといえます。

多くの人々が失敗した“恥ずかしい”行動に多かったのは、まずは**お金に関すること**。「スリ対策で現金をお腹に入れていた。支払いのときにお腹からお財布を出すはめに」（28歳/会社員）「現金専用のセルフレジを使おうとして現金が足りず、店員を呼んでカード払いにもらった」（24歳/会社員）「ハワイで彼がチップを置いたのを、私は彼がお金を置き忘れたと勘違いして、持ってきてしまった」（31歳/会社員）「駅の売店で大きなお金を出して嫌な顔をされた」（26歳/会社員）

次に多かったのは**服装やマナーに関すること**。「ハワイのダイヤモンドヘッドに友達と7センチくらいのヒールで登って、外国人にクレイジーガールと言われて赤っ恥をかいた」（24歳/大学生）「NYの地下鉄は風が下から吹いて来たり、階段で強い風が吹く。また、路上も地下の風が上に吹いてくるのを知らず、良く広がるスカートで歩いていて、何度もめくれ上がるのを必死で抑えた。観光どころじゃない一日だった」（33歳/研究職）「シンガポールのハイティアーの際に、余った食べ物を持ち帰りたと思って申し出た。こっそりOKしてもらえたが、本来はNGだった」（28歳/会社員）など、知らずに“恥ずかしい”行動をしてしまった人がほとんど。とくに海外旅行初心者のうちは失敗してしまいがちですね。

「梅干しを持って行ったら、オーストラリアの空港で種を持ち込んでいると没収された」（32歳/会社員）

「ハワイ限定のスタバのタンブラーを注文したが、**苦手な英語での説明不足**で、ドリンクを注文したことになった」（20歳/専門学校生）



「スペインの団体ツアーに参加し、トイレ休憩でトイレに行かずFacebookで自慢写真のアップばかりしていたら、**バスでトイレに行きたくなり緊急でガソリンスタンドに停車してもらいました。友達には言えません**」（27歳/会社員）

私のうっかり“**恥ずかしい**”失敗告白します！

「紙幣やコインの金額の**区別がつかず**、カウンターに持っている現金を全部出して店員さんに一緒に数えてもらっていたら、**後ろの外国人に苦笑い**されてた」（26歳/フリーランス）

「スッピンでセキュリティーを通過しようとしたら、**パスポートと顔が違**うと止められました」（28歳/契約社員）



「レストランで飲み物を注文し、自信满满でドイツ語で注文したが、発音が悪かったようで、**全く違う飲み物**がでてきた」（25歳/会社員）

「買うつもりで高級ジュエリー店に行ったのに、デニムで友達四人で入ろうとして、子供に見られたのか安っぽく見られたのか、**店内にも入れてもらえなかった**」（29歳/会社員）

ファッション誌で活躍する海外旅行の達人が教える “恥ずかしい”日本人に ならないコツは…?

海外出張や旅行など、旅慣れているファッション誌のスタッフたち。行く先々で目にする日本人の行動を踏まえて、どうしたらスマートに海外旅行を楽しめるかを聞きました。その要点をピックアップしてご紹介します！

長谷川幸代さん「ホテルでは**カードでチェックイン**しておいて、レストランや飲み物の支払いは部屋づけに。チェックアウト時にまとめて支払えば、ホテルでは手ぶらでOK！」

篤史さん「僕はポーターやベッドメイクの**チップ用のお金は別**に取っておきます。いざ、小額の貨幣がなくて慌てずに済みますよ。あとは、レストランなど**カードが使えるところでは、チップもカードでまとめて支払**います。」

高橋裕美さん「服装に関しては、旅の目的をはっきりさせて、それに応じて**旅先で服装を変える**のも旅の楽しみのひとつだと思うんです。全部持って行かなきゃ！って思うと大変ですが、**現地調達も視野にいれて、それも楽しめる**といいですね」

篤史さん「メイクもそうですね。毎日、日本でメイクと同じにしようと思わずに、**TPOに合わせてラフ**にしたりドレスアップしたり、変化をつけるともっと楽しいんじゃないかな」

長谷川幸代さん「あとは、**ホテルをうまく利用**するといいですよ。買い物した後、部屋に戻らずそのままレストランに行きたい時など、フロントで荷物を預かってくれることを知らない人も多いし、コンシェルジュを使わない人も多い」

高橋裕美さん「レストランの予約や困ったことの相談など、**コンシェルジュにお任せ**することで快適度がぐっとあがりますね」

篤史さん「今はインターネットなどで事前にいろいろ調べられるので、ある程度の情報を持ちつつ、あまり失敗をおそれずに海外でのより快適でスタイリッシュな過ごし方にチャレンジしてほしいですね。旅の楽しみがぐっと広がると思います」



右からファッションエディター・長谷川幸代さん、ヘアメイクアップアーティスト・篤史さん、スタイリスト・高橋裕美さん。いずれも長年ファッション誌で活躍中の、旅の達人！

旅先でもっと快適&スタイリッシュに過ごすポイント3つ

1. カードが主流の土地では**カード支払いをメイン**に、チップ用に小額だけ現金を持ち歩くとスマート。いざ現金が足りなくても、**現地のATM**で、Visaなどの国際ブランドのクレジットカード、デビットカード、トラベルプリペイドカードがあれば、**現地通貨を引き出すことができる**。
2. **旅行の目的をはっきりさせて、それに合った服装選び**を。手持ちでないものも現地で調達できることが多いので、用意周到に行くことにとらわれすぎない。
3. **ホテルのサービスなどを利用**するなど、快適な旅になるようチャレンジ。失敗しても、経験したほうが旅の楽しみが広がる。

この座談会の詳しい内容はニュースサイト「Woman Insight」にて配信予定です

■このリリースに関するお問い合わせや取材、資料ご希望の方は下記までご連絡ください■

小学館女性インサイト研究所 担当：岩崎

<http://www.insightlab.jp/>

TEL 03-3230-9774 FAX 03-3234-6557 E-mail pr-islab@shogakukan.co.jp